

バイオディーゼル燃料利用ガイドライン

漁業生産工学部

研究の背景・目的

- ・ 脱石油、再生可能なバイオマス資源の利用
- ・ バイオマス由来の燃料油を利用することで二酸化炭素排出量の削減
- ・ 廃食用油からバイオディーゼル(BDF)燃料の製造、利活用、地産地消
漁船エンジンの燃料として BDF を利用する場合の技術的課題と対策を検討

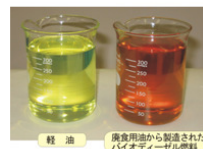
研究成果

- ・ 漁船への BDF 導入試験を実施し、BDF 利用上の留意事項を明らかにした。
- ・ 廃食用油からの BDF を利用する場合、高品質の BDF を使用することが重要となる。
- ・ 燃料油タンクや燃料配管系統は予め汚れ(スラッジ)を除去することが必須となる。
- ・ BDF 使用中には潤滑油等の注意深い保守点検が必要。

波及効果

- ・ 漁船での BDF 使用に当たり、BDF の特性と利用に係わる留意事項をまとめた本ガイドラインを参考にすることで、地産地消として廃食用油 BDF の利活用を促進できる。留意事項として、BDF 利用のメリットとデメリットを十分に把握して、漁船の安全運航に支障のない範囲での利用が望まれる。

漁船へのバイオディーゼル燃料利用に係わる ガイドライン



(独)水産総合研究センター水産工学研究所

平成 22 年 3 月 23 日

ガイドライン表紙

(本ガイドラインは、漁船漁業二酸化炭素排出量削減調査研究事業(平成 19 年~21 年、水産庁委託)の一環として、技術開発推進・評価委員会による審議を経て取りまとめたものである。)

(漁船工学グループ:長谷川 勝男・溝口 弘泰)